

次期計画のフレーム等

(1) 「第二次経営健全化計画」との相違点

- ・重点取組項目の考え方は概ね変更しないが、＜安全＞と＜快適＞に分ける。また、＜運行効率＞は＜経営安定＞の視点が強いいため、＜経営安定＞に統合する。
- ・キャッチフレーズは記載せず、経営理念等を明示する。
- ・新たに、取組項目を体系立てて示す「体系表」を盛り込む。
- ・国が策定を求める「経営戦略」の投資・財政収支の計画（見込額＋成果指標）を追加する。

(2) 計画のフレーム

1 はじめに

※計画策定にあたっての事業管理者の思いを記載

2 目次、本計画の位置付け

※「位置付け」には、どのような計画か、他計画との整合は 等を記載

3 経営理念

※交通局としての全体を通じる経営理念を記載

4 経営方針

※＜安全＞＜快適＞＜公営＞＜経営＞に係る経営き基本的考え方を記載

5 局を取り巻く事業環境と今後の経営の方向

(1) 局を取り巻く事業環境

※経営審議会からの答申（資料部分）を焼き直す（新たな要素があれば追加）

(2) 自動車運送事業の見直し

※取組に至る経過、路線移譲前後の概要等を記載

(3) 今後の経営

※【お客様】⇔【事業者】⇔【市民】の相関図を記載

※＜経営方針＞ ～ ＜取組の総論＞ ～ ＜ゴールイメージ＞を記載

6 計画期間における具体的な取組

＜取組の体系表＞を記載

(1) 安全	取組の例) ○○ 等	指標の例) △△ 等
(2) 快適	取組の例) ○○ 等	指標の例) △△ 等
(3) 公営	取組の例) ○○ 等	指標の例) △△ 等
(4) 経営	取組の例) ○○ 等	指標の例) △△ 等

7 投資・財政計画

※国の「経営戦略」に係る指針を参酌するが、収支見込みを基本に作成

8 進行管理

※「第二次経営健全化計画」の体制を基本（モニターを入れるかは要検討）

＜資料編＞

1 策定経過

2 用語解説